

市内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校（全20校）を福祉教育実践校として指定しています。授業や学校行事のなかに福祉の視点を取り入れ、学校ごとに特色のある活動が進められています。

# 心を育む 福祉教育

⑨

## 御殿場南中学校

【可能性を育てる活動について取材しました】

平成七年から福祉教育実践校の指定を受けている御殿場市立南中学校では、生徒会による「書き損じはがき・アルミ缶回収」などのエコ活動をはじめ、「福祉施設・幼稚園等でのボランティア活動」、「赤い羽根共同募金、歳末たすけあい運動への協力」、「地域行事・イベントへのボランティア参加」、「サマーシヨートボランティアへの参加」、「文化祭での高齢者疑似体験」など活発な活動が行われています。

また、教育機関の代表として御殿場市社会福祉協議会の理事を務める同校の湯山伸彦校長は、社協主催の福祉教育研修会企画への助言、社会福祉大会意見発表での講師など、学校内に留まらず、地域の福祉分野で広くご尽力いただいています。旧養護学校で六年、旧青少年の家で三年の勤務経験に基づき、同校の現状について「今の子供たちは福祉活動を経験する機会が増えているので無限の可能性を感じる。一方で、この経験を実生活にどう活かしていくかが今後の課題」「ボランティアは一方的にしてあげる、してもらいの関係ではなく、相互に対等な立場で互いに自己実現ができる関係を築くことが大切」と仰る言葉一つひとつには非常に重みがありました。

南中学校では、益々進む高齢社会を見据え、認知症の

理解を進めるため、十一月十三日（金）に全校生徒を対象とした福祉講演会「認知症サポーター養成講座」が予定されています。



湯山伸彦校長

## 静岡県立御殿場特別支援学校

【地域の中で生きていく・・・】

私たちの学校では、個々の特性や発達段階に応じて、それぞれの可能性を最大限に広げていくとともに、在学中から社会参加するために、個々の知識・技能・態度の育成を育みつつ、積極的に地域の中に出ていく校外学習を計画、実施しています。

小学部では、地域の公園やテーマパークに遊びに出かけることで、地域で遊びます。中学部では、保護者と一緒に福祉施設の見学をしたり、学校を中心に立体地図を作ったりすることで、地域を知ります。高等部では、公共施設や商店街、娯楽施設を実際に利用したり、卒業生の進路先を訪問したりすることで、地域にとけ込みます。児童生徒の発達段階に応じて、必要な場合に、福祉車両を利用させていただいたり、親身になり説明や案内をしたりしていただいています。

私たちが、地域の中で生きていくためには、いろいろな方々に理解していただき、支援していただかなければなりません。特に移動面では、福祉車両を利用し有意義な時間を過ごすことができます。これからも、いつでも、どこでも、誰でも、地域の中で生きていくために、積極的に地域に出て行きます。

担当 進路指導課 吉川静恵



中学部3年 学校にて



高等部1年 桜公園にて